

マイナンバー時代到来 セキュリティ対策チェックシート

誰でもできる中堅中小企業様向け セキュリティ対策のススメ

マイナンバー時代のセキュリティ対策、あなたの会社での対応状況をチェック

2016年1月から運用が開始されるマイナンバー制度は個人情報保護法とは異なり、事業規模を問わずマイナンバーの厳格な管理を求められることになります。マイナンバーの管理を怠ると、番号法※による罰則のほか、様々なペナルティを課されます。このマイナンバー対策の中でも重要なのが「セキュリティ対策」。

まずはチェックシートで、
の会社のセキュリティ対策
対応状況をチェックしましょう。



刑事罰：4年以下の懲役または200万円以下の罰金

民事訴訟：漏えいされたマイナンバー保有者からの訴訟

信用低下：新規案件受注減や取引停止

※ 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律

項目	チェック
① マイナンバーを含むファイルを扱っている人が特定できない	
② マルウェア対策ソフトウェアを導入し、最新のパターンファイルで定期的にチェックを行うように構成されている	
③ マイナンバーを含むデータは使用しない時には暗号化されている	
④ 法的な保存期間が終了したデータについて、決まった廃棄方法を定めていない	
⑤ マイナンバーを扱うアプリケーションが決まっていない	
⑥ 社内のみ/クラウドのみなど、マイナンバーを扱える場所を定めていない	
⑦ マイナンバーを含むメールの誤送信は不安だが、特に対策をしていない	
⑧ マイナンバーが含まれることを意識せずにファイルやメールを扱う可能性がある	
⑨ マイナンバーを含むコンピューターを限定していない、または紛失した時の対応方法を特に定めていない	
⑩ マイナンバーが保存されている領域には安全な認証方法によってのみアクセスできるように構成されている	
⑪ マイナンバーを保存する領域に対する不正アクセスを検出するような仕組みを定めていない	
⑫ マイナンバーをメールなどを利用しネットワーク経由で送受信する場合、その内容は暗号化されている	



あなたの会社のマイナンバー対応状況は裏面へ



■ ①,②,③,④ のいずれかに チェックをつけた方

データ保護の対策が必要です。データの保存場所がどこであっても同じセキュリティレベルを維持できるように、次の対策を行いましょう。



- Office 365 のアクセス許可設定
- IRM でのデータの暗号化と操作の限定
- BitLocker による PC 内データの暗号化
- Windows Defender によるマルウェアブロック

■ ⑤,⑥,⑦,⑧ のいずれかに チェックをつけた方

アプリケーションの対策が必要です。アプリケーションでの誤操作による漏えいを起こさないよう、次の対策を行いましょう。



- トランスポールールによる送信チェック
- DLP によるデータ漏えいのチェック
- AppLocker によるアプリケーションの実行制御

■ ⑨,⑩ のいずれかに チェックをつけた方

デバイス保護の対策が必要です。万が一のデバイスの紛失や盗難に備えて、次の対策を行いましょう。



- モバイルデバイス管理によるデバイス紛失対応
- Windows Hello によるパスワードいらずの認証

■ ⑪,⑫ のいずれかに チェックをつけた方

ネットワーク通信の保護が必要です。マイナンバーを含むデータはメールなどで扱われる可能性があるため、通信を安全に行えるよう、次の対策を行いましょう。



- Office 365 内でのすべての通信の SSL 暗号化



必要な対策は **Microsoft Office 365** と **Windows 10** ですべて揃います。
これでマイナンバーのセキュリティ対策も安心



Office 365

+



Windows 10

Web サイトにて詳細をご確認いただけます。

ご契約はもちろんのこと、製品の最新情報、無償トライアル、お得なキャンペーン情報をご用意しています。

www.office365.com

まずはご相談ください！ Office 365 無料トライアル版も提供中！

●問い合わせ窓口

マイクロソフト カスタマー インフォメーション センター
0120-41-6755 (営業時間：平日 9:00 - 17:30)

●Office 365 無料トライアル <http://aka.ms/o365try>



最新版の Office で実現する

マイナンバーセキュリティ対策キャンペーン

<http://aka.ms/mynumber>